

# つばき ケーブルベヤ<sup>®</sup>

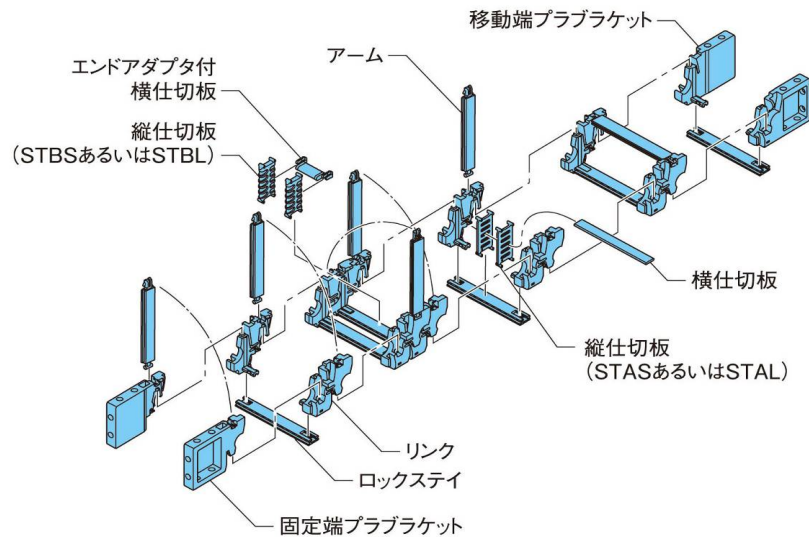
## 取扱説明書

TKR26H40・TKR28H52・TKR28H52-EX  
(旧 TKR0260) (旧 TKR0280)

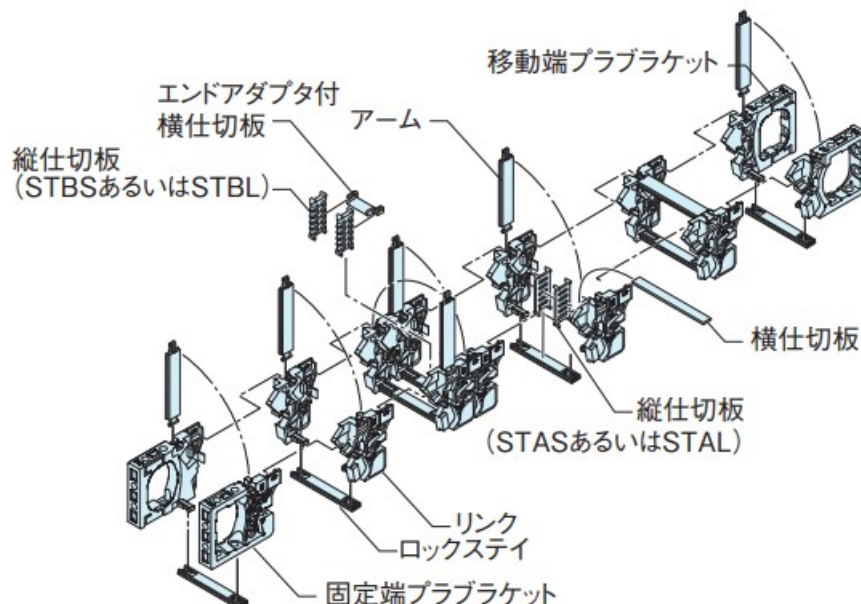
(注) 作業の際には適切な保護具 (安全眼鏡、手袋、安全靴など) を着用してください。

### 1 構造・名称

TKR26H40・TKR28H52



TKR28H52-EX




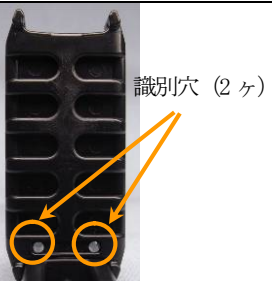


## 2 仕切板の取付け

仕切板は、ケーブル・ホース挿入時に取付けます。アームを開けた（ロックステイだけを取付けた）状態で、以下の手順にしたがって、縦仕切板をロックステイの内周面に取付けてください。

1) 縦仕切板の片方の係合部をロックステイに引っ掛けま す。	2) 縦仕切板の片方の係合部を引っ掛けたまま他方の係合 部を押し込むと縦仕切板が取付きます。
	

縦仕切板は、以下の4種類あります。

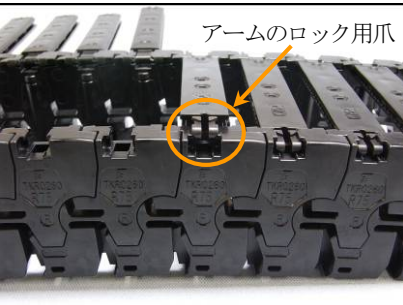
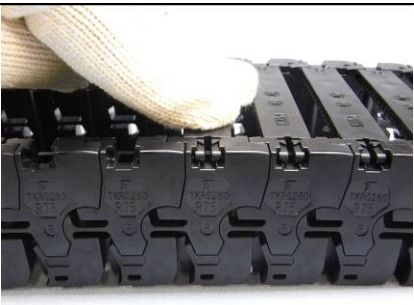
STAS DSA用スライドタイプ	STAL DSA用ロックタイプ	STBS DSB用スライドタイプ	STBL DSB用ロックタイプ
 識別穴 (1ヶ)	 識別穴 (2ヶ)	 識別穴 (1ヶ)	 識別穴 (2ヶ)

注) 仕切板は、2リンク毎に取付けるため、1ヵ所に入る数量を確認ください。

注) 隣り合うロックステイに連続して縦仕切板を取付けるとケーブルベヤが屈曲したときに干渉するため、仕切板の取り付け間隔（ピッチ方向）は、2リンク毎以上としてください。

## 3 アームのはめ込み

「つばき ケーブルベヤ TKR26H40・TKR28H52・TKR28H52-EX」はケーブル・ホース収納の作業性を考慮し、アームを半開きの状態で納入しています。以下の手順にしたがって、アームをはめ込んでください。

1) アームのロック用爪をリンクのく ぼみにあわせてます。	2) アームのロック用爪をリンクのく ぼみに押し込みます。	注) アームのロック用爪の押し込みは 手で押し込んでください。 そのほかの方法で押し込むと爪 が破損することがあります。
 アームのロック用爪		

## 4 アームの取外し

アームの取外し方法は以下の手順にしたがって、アームを取外してください。


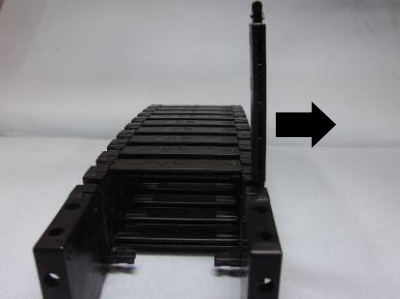
TKR 2 6 H 4 0 ・ TKR 2 8 H 5 2

### <取外し方法①>

<p>1) アームを押し上げながら、アームのロック用爪とリンクの側方の隙間にマイナスドライバーを挿入し、こじると片側のロック用爪が浮き上がります。</p>	<p>2) 1) と同様に他方のロック用爪を浮き上がらせるとアームが浮き上がります。</p>	<p>3) アームを90度回転(ロック用爪が上になるように)させ、横に抜き取るとアームが外れます。</p>
		



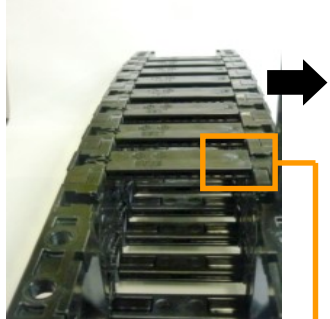
注) 先端の幅が4mm以下のマイナスドライバーをご使用ください。

### <取外し方法②>

<p>1) アームのロック用爪とリンクの隙間(下図参照)にマイナスドライバーを挿入し、ひねると片側のロック用爪が浮き上がります。</p>	<p>2) 1) と同様に、マイナスドライバーを反対側にひねるとアームが浮き上がります。</p>	<p>3) アームを90度回転(ロック用爪が上になるように)させ、横に抜き取るとアームが外れます。</p>
		

注) 先端の幅が4mm程度のマイナスドライバーを使用してください。

## TKR 28H52-EX

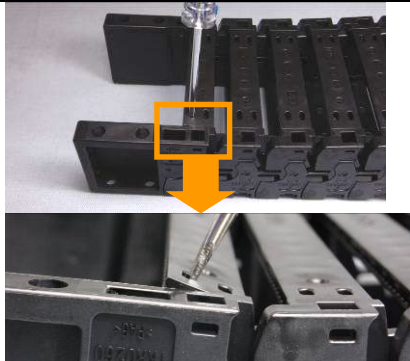


<p>1) アームを押し上げながら、リンクのロック解除用孔にマイナスドライバーを挿入し、こじると片側のロック用爪が浮き上がります。</p>	<p>2) 1)と同様に他方のロック用爪を浮き上がらせるとアームが浮き上がります。</p>	<p>3) アームを90度回転（ロック用爪が上になるように）させ、横に押しつけてアームのロックを解除します。</p>
		

注) 先端の幅が4mmのマイナスドライバーをご使用ください。

<p>4) ロックを解除した状態で上に引張るとアームが外れます。</p>	<p>ロックされた状態</p>	<p>ロックが解除された状態</p>
	 <p>隙間</p>	 <p>隙間なし</p>

## 5 ロックステイの取外し

以下の手順にしたがって、ロックステイを取外してください。

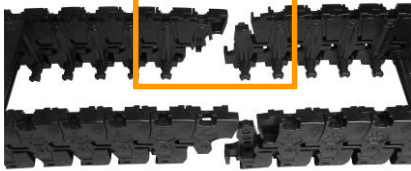





<p>1) ロックステイのくぼみにマイナスドライバーを挿入し、軽くこじるとロックステイが少し浮き上がります。 注) マイナスドライバーを強くこじりすぎるとロックステイが破損し、飛散することがあります。</p>	<p>2) 1)と同様に反対側（ロックステイ長さ方向）のくぼみにマイナスドライバーを挿入し、軽くこじるとロックステイが大きく浮き上がります。</p>	<p>3) 手でロックステイを取ります。</p>
		

注) 先端の幅が4mm以下のマイナスドライバーをご使用ください。





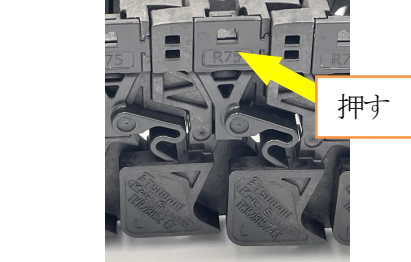


## 6 ケーブルベヤの連結およびプラブラケットの取付け

長尺編成（100 リンク以上）の場合は原則として分割して納入します。以下の手順にしたがって、連結してご使用ください。アームおよびロックステイの取外し方法は前項を参照ください。プラブラケットの取付け方法も同様の手順です。

### TKR 2 6 H 4 0 ・ TKR 2 8 H 5 2

1) 両端各 5 リンク以上のアームおよびロックステイを取外し、方向をそろえます。	2) リンクの上側の凸部を隣りのリンクの凹部にはめ込みます。	3) リンクの下側をはめ込みます。
		
↓ □部拡大図	↓ □部拡大図	↓ □部拡大図
		
4) 反対側のリンクも同様に連結し、アームおよびロックステイを取付けてください。		

### TKR 2 8 H 5 2-EX

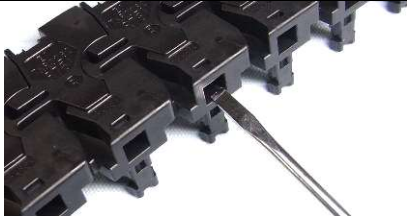
1) 両端各 5 リンク以上のアームおよびロックステイを取外し、方向をそろえます。	2) リンクの上側の凸部を隣りのリンクの凹部にはめ込みます。	3) リンクの中央部を押し、リンクの下側をはめ込みます。
		
↓ □部拡大図	↓ □部拡大図	↓ □部拡大図
		
4) 再度リンクの上側を押し、リンクの上側をはめ込みます。	5) 反対側のリンクも同様に連結し、アームおよびロックステイを取付けてください。	
		

## 7 ケーブルベヤの分割およびプラブラケットの取外し

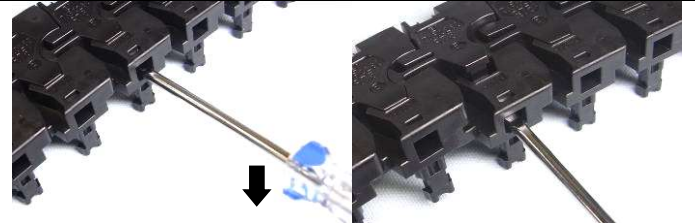
以下の手順にしたがって、必要な長さに分割してご使用ください。プラブラケットの取外し方法も同様の手順です。

### TKR 2 6 H 4 0 ・ TKR 2 8 H 5 2

1) 分割したい部分の両側各 5 リンク以上のアームおよびロックステイを取外し、リンク下面(内周側)の孔にマイナスドライバーを差し込みます。



2) マイナスドライバーを矢印の方向にこじるとリンクが外れます。



注) 先端の幅が 4mm 以下のマイナスドライバーをご使用ください。

### TKR 2 8 H 5 2-EX

1) 分割したい部分の両側各 5 リンク以上のアームおよびロックステイを取外し、リンク上側の隙間にマイナスドライバーを差し込みます。



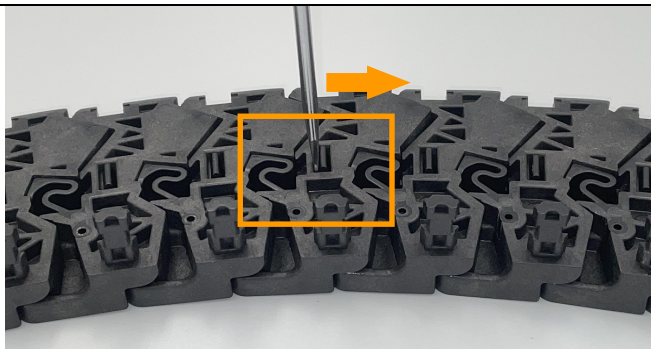
ドライバー挿入隙間



2) マイナスドライバーをこじりリンクの上側を外します。



3) リンク内側の孔にマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向にこじりロックを解除します。



□部拡大図



矢印の方向にこじる


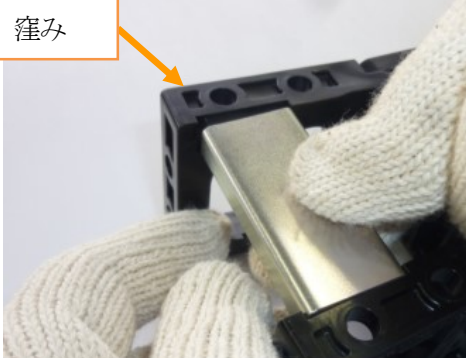

## 8 ロックステイの取付け

以下の手順にしたがって、ロックステイを取付けてください。

1) ロックステイを 45° 以上傾けた状態で、横方向からリンクの突起とロックステイのくぼみをあわせませす。	2) ロックステイの中央部を持ち、回転させます。	3) ロックステイの両端から 30mm 付近を押し込み、ロックステイを取付けます。
		

## 9 クランプレール及びケーブルクランプクシ歯形の取付け

以下の手順にしたがって、クランプレール及びケーブルクランプクシ歯形を取付けてください。

1) ブラケットに取付いているアーム及びロックステイを取り外します。	2) ブラケットを広げながらクランプレールもしくはケーブルクランプクシ歯形をブラケットの窪みに取付けます。	3) アーム及びロックステイを取り付けます。
		

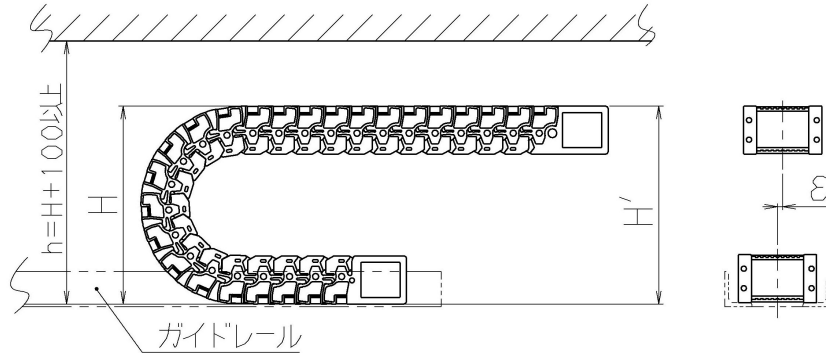
## 10 クランプレール及びケーブルクランプクシ歯形の取外し

以下の手順にしたがって、クランプレール及びケーブルクランプクシ歯形を取外してください。

1) ブラケットに取付いているアーム及びロックステイを取り外します。	2) ブラケットを広げながらクランプレールもしくはケーブルクランプクシ歯形を取外します。	3) アーム及びロックステイを取り付けます。
		

## 11 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。



1. 機械装置の移動端取付高さ (H') は、ケーブルベヤの高さ H + (30~50) としてください。
2. ケーブルベヤの空間高さ (h) は、H + 100 としてください。
3. ガイドレールを取付けてください。
4. 移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差 (ε) は、6mm 以下にしてください。
5. ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものをご使用ください。
6. ワイヤブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7. ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用ください。
8. ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
9. ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
10. 次の部品は部品送りいたしますので取付時に組み込み願います。
  - ・ 仕切板

◎ プラブラケットの取付面に凹凸があると、破損する場合がありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合がありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M6	2.6 N・m